

一心一体

向東小学校
第5学年通信No. 16
平成29年12月22日

子どもたちの命を守る



今日から冬休みに入り、子どもたちはクリスマスやお正月などの行事を楽しみながら日々過ごす事と思います。中には生活リズムや行動範囲が大きく変わる子もいると思います。

悲しい事ですが、近年、子どもたちの自殺のニュースがクローズアップされる機会が増えています。事実、特に長期休業明けに起こる割合が高いというデータがあります。悩みを抱えている児童が、始業式が近づくにつれて不安が増大し、誰にも助けを求めることもできず悲しい決断をされています。

長期の休み明けに、子どもの自殺が増える傾向

18歳以下の日別自殺者数(1972年～2013年)



学校としては、日々の会話や様子の中から子どもの悩みや不安を察知し対応したり、アンケートをしたりして、子どもたちの不安を取り除くことができるよう取り組んでおります。しかし、5年生となり思春期を迎えつつある子どもたちは、自分の悩みをなかなか打ち明けられないことも少なからずあります。友達関係も広がり、複雑化していく中で、気付かない内にストレスをため込んでしまう場面もあるかもしれません。



保護者の方には、冬期休業中、子どもたちに普段と違う様子や表情、友達関係の変化などがなければ見ていただけたらと思います。冬期休業中は、子どもとゆっくりと話すことができる時間も多いかと思います。子どものももしも気になることがありましたら、遠慮無く学校へ教えていただきたく思います。よろしくお願ひいたします。また、学校便りでも、子どもたちの悩みやインターネット犯罪などについての資料を載せていますのでご覧ください。